

特別企画：山形県「無借金企業」調査

無借金企業の比率は 8.5% で全国 7 位

～ 2020 年の無借金企業数は 112 社、キャッシュリッチ企業は 239 社 ～

はじめに＞＞

会社経営にあたり、「借入金」は企業の成長に大きな影響を与える。金融機関から融資を受け手元資金を増やすことで、設備投資や新規事業の開始など経営上の選択肢が増える一方で、過大な借入金を抱えることが資金繰りをひっ迫させて経営を不安定なものにする可能性も高まる。逆に借入金に頼らない「無借金経営」は本業が安定していることを示し、利益の再投資による社業の発展なども期待される。現在のコロナ禍における不安定な経済情勢のなかにあっては、借入金に頼らない身軽な経営を行っている「無借金経営企業」は特筆される存在であり、地域経済の安定面に寄与するポジションにあるといっても過言ではない。

そこで、帝国データバンク山形支店では、財務データベース「COSMOS1」を用いて、2019 年から 2020 年に決算を行った山形県内企業から無借金企業を抽出し、業種別、売上規模別、地域別などに分析した。また、経営規模に比べて潤沢なキャッシュを保有するキャッシュリッチ企業も抽出した。「無借金企業」の分析は山形支店では初となる。

◇本調査における「無借金」の定義は、2019 年 1 月期～2020 年 12 月期の決算書上で「短期借入金」「長期借入金」「1 年以内返済長期借入金」「社債」「1 年以内償還予定社債」がゼロの企業とした。

◇抽出対象は 2019 年 1 月期～2020 年 12 月期の決算書データで、母数となる対象企業は 2019 年が 1865 社、2020 年が 1325 社。

◇キャッシュリッチ企業：(現金・預金＋有価証券－有利子負債)／総資産×100＝20%以上

調査結果（要旨）

■2020 年 1 月期～12 月期の財務データにおける山形県内の無借金企業は 112 社判明。調査対象企業に占める無借金企業の割合（以下、無借金率）は 8.5% となった。また、無借金ではないものの潤沢なキャッシュを保有するキャッシュリッチ企業は 239 社判明し、対象企業の 18.0% を占める結果となった。

■業種別に見ると(2020 年)、件数では「建設業」が最多、「卸売業」「製造業」などが続いた。無借金率では、「卸売業」が唯一 1 割を超えた。

■売上規模別に見ると(2020 年)、件数では「10 億円～100 億円未満」が最も多く、「1 億円～10 億円未満」「1 億円未満」と続いた。無借金率では「100 億円～1000 億円未満」が最も高く、「10 億円～100 億円未満」が続き、ともに 10% 台となった。

■地域別に見ると(2020 年)、件数では「山形市」が最も多く、「鶴岡市」「酒田市」が同数で続いた。無借金率では、「西村山郡」「村山市」「最上郡」などで高かった。

■全国 47 都道府県別(2020 年)では「山形県」の無借金企業数は 22 番目、無借金率は 7 番目となった。

1. 「無借金」企業の件数

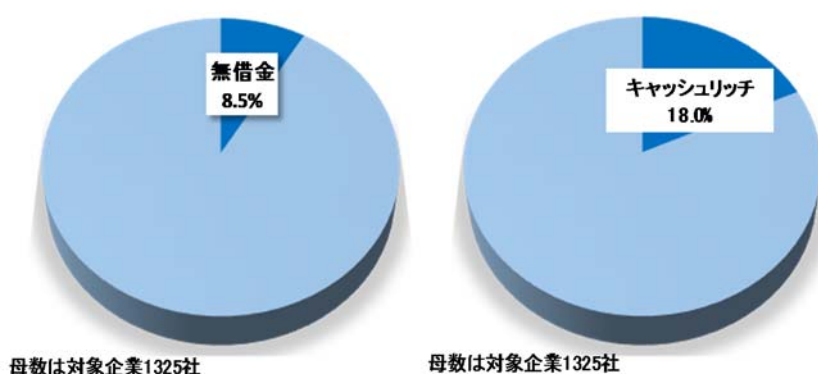
県内の2020年の決算書上の負債項目（短期借入金、長期借入金、1年以内返済長期借入金、社債、1年以内償還予定社債）がゼロの企業は112社判明した。

前年と比べて調査対象企業が減少した（1865社⇒1325社）ことで、無借金企業の社数は減少したも

の、無借金企業の比率（以下、無借金率）は8.5%で前年に比べて0.5ポイント上回り、全国47都道府県別の順位でも第7位となった。2020年は、新型コロナウイルス感染拡大の影響で売上高が減少した企業に対して、無利子・無利息などの特別融資制度が創設され、多くの県内企業が利用した状況であるものの、無借金経営を維持した企業が一定数みられる結果となった。

また、潤沢なキャッシュを持つキャッシュリッチ企業（現金・預金＋有価証券－有利子負債）／総資産×100＝20%以上の企業）は239社判明し、対象企業全体の18.0%を占めた。

無借金企業とキャッシュリッチ企業の割合



2. 業種別

業種別

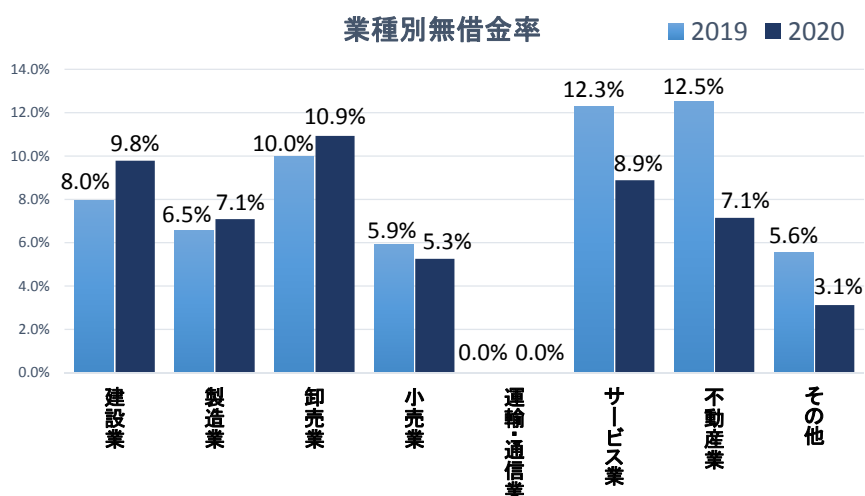
	2019年1月期～12月期				2020年1月期～12月期				無借金率 前年比
	無借金(社)	構成比	対象(社)	無借金率	無借金(社)	構成比	対象(社)	無借金率	
建設業	71	47.3%	891	8.0%	54	48.2%	552	9.8%	1.8
製造業	20	13.3%	306	6.5%	18	16.1%	254	7.1%	0.6
卸売業	24	16.0%	241	10.0%	20	17.9%	183	10.9%	0.9
小売業	8	5.3%	135	5.9%	6	5.4%	114	5.3%	-0.6
運輸・通信業	0	0.0%	53	0.0%	0	0.0%	41	0.0%	0.0
サービス業	23	15.3%	187	12.3%	12	10.7%	135	8.9%	-3.4
不動産業	2	1.3%	16	12.5%	1	0.9%	14	7.1%	-5.4
その他	2	1.3%	36	5.6%	1	0.9%	32	3.1%	-2.5
合計	150	100.0%	1,865	8.0%	112	100.0%	1,325	8.5%	0.5

注：小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計は必ずしも100とはならない

2020年における無借金企業を業種別に見ると、件数では「建設業」（54社、構成比48.2%）が最も多く、以下「卸売業」（20社、同17.9%）、「製造業」（18社、同16.1%）、「サービス業」（12社、同10.7%）が続いた。2019年と比べると「建設業」で17社、「サービス業」で11社が減少した。

無借金率では、「卸売業」が10.9%と最も高く、前年より0.9ポイント増加、次いで「建設業」が9.8%で同1.8ポイント増加した。一方で、前年に比べて無借金率のマイナス幅が大きかったのは「不動産業」（前年比5.4ポイント減）、「サービス業」（同3.4ポイント減）などとなり、「その他」を含めて4業種で前年より減少した。

業種別無借金率



3. 売上規模別

売上規模別

	2019年1月期～12月期				2020年1月期～12月期				無借金率 前年比
	無借金(社)	構成比	対象(社)	無借金率	無借金(社)	構成比	対象(社)	無借金率	
1 億円未満	24	16.0%	446	5.4%	24	21.4%	286	8.4%	3.0
1 億円～10 億円未満	64	42.7%	982	6.5%	38	33.9%	681	5.6%	-0.9
10 億円～100 億円未満	54	36.0%	397	13.6%	44	39.3%	322	13.7%	0.1
100 億円～1000 億円未満	8	5.3%	38	21.1%	6	5.4%	33	18.2%	-2.9
1000 億円以上	0	0.0%	2	0.0%	0	0.0%	3	0.0%	0.0
合 計	150	100.0%	1,865	8.0%	112	100.0%	1,325	8.5%	0.5

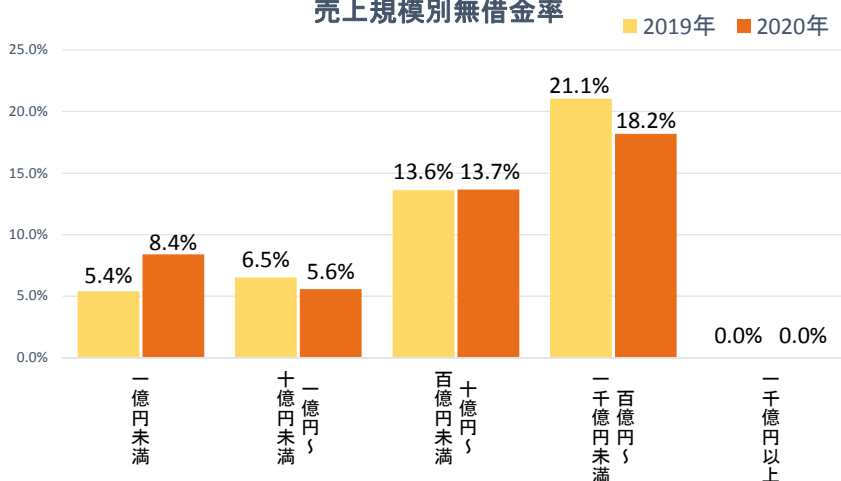
注：小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計は必ずしも100とはならない

2020 年の無借金企業を売上規模別に見ると、件数では「10 億円～100 億円未満」が 44 社（構成比 39.3%）で最も多く、「1 億円～10 億円未満」（38 件、同 33.9%）、「1 億円未満」（24 件、同 21.4%）と続いた。

無借金率では、「100 億円～1000 億円未満」が 18.2%で最も高く、「10 億円～100 億円未満」が 13.7%で続き、共に 10%台となった。

また、前年との比較で無借金率が目立って上昇したのは「1 億円未満」で、3.0 ポイント増加となる 8.4%となった。

売上規模別無借金率



4. 地域別

地域別

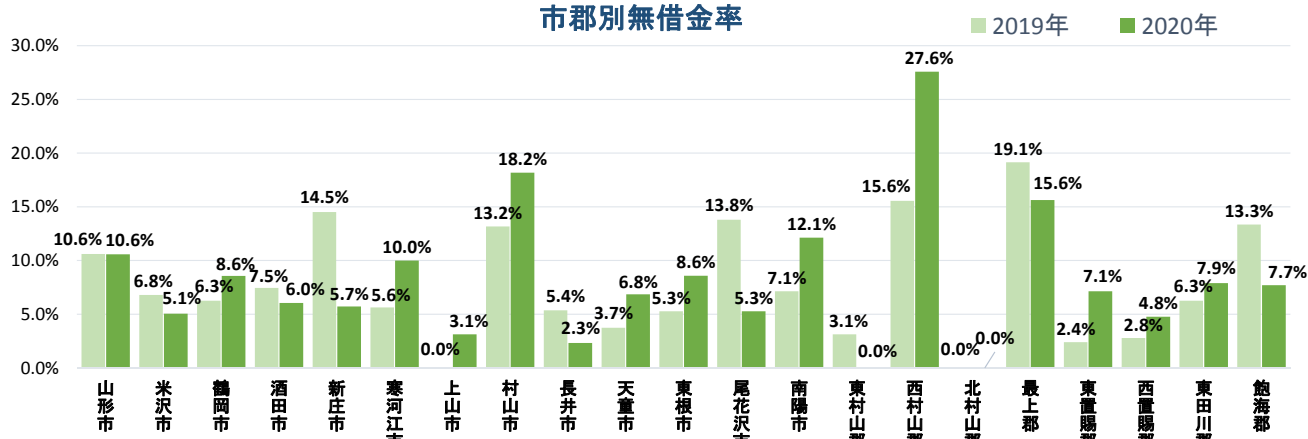
	2019年1月期～12月期				2020年1月期～12月期				無借金率 前年比
	無借金(社)	構成比	対象(社)	無借金率	無借金(社)	構成比	対象(社)	無借金率	
山形市	47	31.3%	443	10.6%	35	31.3%	331	10.6%	0.0
米沢市	10	6.7%	147	6.8%	5	4.5%	99	5.1%	-1.7
鶴岡市	15	10.0%	240	6.3%	13	11.6%	152	8.6%	2.3
酒田市	19	12.7%	255	7.5%	13	11.6%	215	6.0%	-1.5
新庄市	9	6.0%	62	14.5%	2	1.8%	35	5.7%	-8.8
寒河江市	4	2.7%	71	5.6%	5	4.5%	50	10.0%	4.4
上山市	0	0.0%	41	0.0%	1	0.9%	32	3.1%	3.1
村山市	5	3.3%	38	13.2%	4	3.6%	22	18.2%	5.0
長井市	3	2.0%	56	5.4%	1	0.9%	43	2.3%	-3.1
天童市	4	2.7%	107	3.7%	5	4.5%	73	6.8%	3.1
東根市	3	2.0%	57	5.3%	3	2.7%	35	8.6%	3.3
尾花沢市	4	2.7%	29	13.8%	1	0.9%	19	5.3%	-8.5
南陽市	3	2.0%	42	7.1%	4	3.6%	33	12.1%	5.0
東村山郡	1	0.7%	32	3.1%	0	0.0%	18	0.0%	-3.1
西村山郡	7	4.7%	45	15.6%	8	7.1%	29	27.6%	12.0
北村山郡	0	0.0%	12	0.0%	0	0.0%	7	0.0%	0.0
最上郡	9	6.0%	47	19.1%	5	4.5%	32	15.6%	-3.5
東置賜郡	1	0.7%	42	2.4%	2	1.8%	28	7.1%	4.7
西置賜郡	1	0.7%	36	2.8%	1	0.9%	21	4.8%	2.0
東田川郡	3	2.0%	48	6.3%	3	2.7%	38	7.9%	1.6
飽海郡	2	1.3%	15	13.3%	1	0.9%	13	7.7%	-5.6
合 計	150	100.0%	1,865	8.0%	112	100.0%	1,325	8.5%	0.5

注：小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計は必ずしも100とはならない

2020年における無借金企業を地域別に見ると、件数では、「山形市」（35社、構成比31.3%）が最も多く、以下「鶴岡市」「酒田市」が各13社（同各11.6%）で続いた。件数については、企業数そのものが多い市郡で多い傾向となった。

無借金率では、「西村山郡」（27.6%）が最も高く、「村山市」（18.2%）、「最上郡」（15.6%）、「南陽市」（12.1%）などが続いた。前年との比較で無借金率が最も上昇したのは「西村山郡」で12.0ポイント増となったが、対象企業が減少するなかで無借金企業がわずかも増えたことが数値を押し上げた。一方で、「新庄市」は無借金率が5.7%で前年より8.8ポイント減となり、マイナス幅が最も大きくなっている。

市郡別無借金率



なお、全国 47 都道府県別の無借金企業は、「東京都」（2826 社）が最も多く、以下「大阪府」（989 社）、「愛知県」（728 社）などが続き、「山形県」（112 社）は 22 位となった。無借金率では、「東京都」（11.3%）が最も高く、以下「島根県」（10.5%）、「新潟県」（9.1%）と続き、「山形県」（8.5%）は 7 位となった。

2020年全国都道府県別

都道府県	無借金	構成比	順位	対象	無借金率	順位	都道府県	無借金	構成比	順位	対象	無借金率	順位
01 北海道	591	5.4%	4	8,308	7.1%	16	25 滋賀県	87	0.8%	31	1,263	6.9%	18
02 青森県	99	0.9%	26	1,536	6.4%	23	26 京都府	174	1.6%	16	2,900	6.0%	30
03 岩手県	74	0.7%	35	911	8.1%	8	27 大阪府	989	9.1%	2	15,291	6.5%	22
04 宮城県	230	2.1%	10	3,778	6.1%	28	28 兵庫県	342	3.1%	7	4,718	7.2%	14
05 秋田県	52	0.5%	42	727	7.2%	15	29 奈良県	30	0.3%	47	1,260	2.4%	47
06 山形県	112	1.0%	22	1,325	8.5%	7	30 和歌山県	37	0.3%	45	954	3.9%	46
07 福島県	153	1.4%	17	2,655	5.8%	36	31 鳥取県	33	0.3%	46	517	6.4%	25
08 茨城県	111	1.0%	23	1,869	5.9%	32	32 島根県	73	0.7%	38	698	10.5%	2
09 栃木県	94	0.9%	28	1,757	5.4%	39	33 岡山県	144	1.3%	19	2,386	6.0%	29
10 群馬県	104	1.0%	25	2,124	4.9%	43	34 広島県	229	2.1%	11	4,129	5.5%	38
11 埼玉県	267	2.5%	8	6,180	4.3%	45	35 山口県	126	1.2%	20	1,710	7.4%	11
12 千葉県	224	2.1%	12	4,937	4.5%	44	36 徳島県	39	0.4%	44	696	5.6%	37
13 東京都	2,826	26.0%	1	25,034	11.3%	1	37 香川県	87	0.8%	32	1,001	8.7%	6
14 神奈川県	454	4.2%	5	6,613	6.9%	19	38 愛媛県	82	0.8%	34	1,409	5.8%	33
15 新潟県	202	1.9%	13	2,212	9.1%	3	39 高知県	46	0.4%	43	795	5.8%	34
16 富山県	115	1.1%	21	1,459	7.9%	9	40 福岡県	379	3.5%	6	6,087	6.2%	26
17 石川県	147	1.3%	18	1,677	8.8%	5	41 佐賀県	54	0.5%	41	842	6.4%	24
18 福井県	85	0.8%	33	951	8.9%	4	42 長崎県	74	0.7%	36	1,399	5.3%	41
19 山梨県	58	0.5%	40	975	5.9%	31	43 熊本県	94	0.9%	29	1,631	5.8%	35
20 長野県	177	1.6%	15	2,725	6.5%	21	44 大分県	97	0.9%	27	1,941	5.0%	42
21 岐阜県	200	1.8%	14	2,715	7.4%	12	45 宮崎県	66	0.6%	39	1,061	6.2%	27
22 静岡県	233	2.1%	9	3,355	6.9%	17	46 鹿児島県	74	0.7%	37	1,384	5.3%	40
23 愛知県	728	6.7%	3	9,727	7.5%	10	47 沖縄県	109	1.0%	24	1,591	6.9%	20
24 三重県	88	0.8%	30	1,213	7.3%	13	合 計	10,889	68.2%		94,763	11.5%	

注：小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計は必ずしも100とはならない

まとめ

2020 年 1 月期～12 月期の財務データベース「COSMOS1」において、県内の無借金企業は 112 社あることが判明した。無借金率は 8.5%と前年に比べて 0.5 ポイント増加して、全国 47 都道府県中 7 位と上位に位置した。山形県の県民性から経営者も手堅い経営を指向することが多く、コロナ禍にあっても無利子・無担保の好条件の融資の利用などを控える企業が一定数存在することがうかがわれる結果となった。

2020 年における業種別の無借金率では、「卸売業」（10.9%）、「建設業」（9.8%）が約 1 割を示した一方で、売上規模別の無借金率では、「100 億円～1000 億円未満」（18.2%）の企業群が高い水準を示し、山形県を代表するような規模の大きい企業が、これまでの利益蓄積などを背景に、借入金に頼らない堅実経営が可能となっていることがうかがわれた。

無借金企業には、設備や人材ほかへの投資など事業のさらなる拡大に向けては慎重で積極的な取り組みが求められる企業も存在する一方で、利息の支払いや借入金の元本返済などの必要がなく資金繰りを見通しやすいうえ、取引先からの信用が高まる、円滑な事業承継が可能となる、といった様々なメリットも併せ持ち、地域にとっては経済を支える重要な役割を担う存在でもある。

一方、新型コロナウイルス感染拡大が無借金企業に与える影響という見地では、業績や資金繰りに顕著に反映される 2020 年 6 月期以降の決算結果がより重要ではあるものの、2019 年と単純に比較して無借金率は 0.5 ポイント増加しており、一定の無借金企業においてはコロナ禍にあっても無借金経営を堅持しているとみられる。

また、今後の県内での設備投資については、財務体質の強いキャッシュリッチ企業の動向などが焦点になるとみられるが、県内におけるキャッシュリッチ企業は 2020 年において 239 社判明しており、県内経済を浮揚させる一つの源泉ともなり得る企業が、対象企業全体のうち 18.0% を占めていることは、心強いデータともいえる。

総じて、コロナ禍の影響などから先行き不透明な経済情勢にあるが、借入金に頼らない経営を続ける無借金企業や、財務体質が強いキャッシュリッチ企業が牽引役となり、県内経済の回復や発展に寄与することを期待したい。

【内容に関する問い合わせ先】

株式会社帝国データバンク 山形支店 担当：佐藤 剛喜
TEL 023-622-4301 FAX 023-622-4415

当レポートの著作権は株式会社帝国データバンクに帰属します。

当レポートはプレスリリース用資料として作成しております。報道目的以外の利用につきましては、著作権法の範囲内でご利用いただき、私的利用を超えた複製および転載を固く禁じます。